

DENON

DJ デジタル・ミキサー

DN-X1700

取扱説明書

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



電源プラグを
コンセント
から抜け

**万一異常が発生したら、
電源プラグをすぐに抜く**

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ
禁止

水をかけたり、濡らしたりしない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。



分解禁止

**ねじを外したり、
分解や改造したりしない**

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。



水場での
使用禁止

**風呂・シャワー室では
使用しない**

火災・感電の原因となります。



水ぬれ
禁止

**この機器の上に花瓶・植木鉢・
コップ・化粧品・薬品や水など
が入った容器、および小さな金
属物を置かない**

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず実施

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。

根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。

また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



必ず実施

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



必ず実施

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

安全上のご注意	I
取り扱い上のご注意	1
結露現象について	1
設置について	2
テレビ放送の画面にしま模様が入る場合	2
FM や AM 放送を受信している場合	2
お手入れについて	2
使わないときは	2
主な特長	3
各部の名前とはたらき	4
トップパネル	4
リアパネル	6
ディスプレイ	7

接続のしかた

準備	8
接続に使用するケーブル	8

基本操作

準備	9
MIC（マイクの入力）	9
ダッキング機能	9
MONITOR（ヘッドホンの出力）	9

エフェクター機能

ビートプレーカー機能	10
エフェクター画面	11
エフェクター操作	11
エフェクターユニット及びチャンネルの選択	11
BPM の設定	11
ビートの設定	12
エフェクトの選択	12
エフェクト ON/OFF	12

フェーダースタート機能

チャンネルフェーダースタート	12
クロスフェーダースタート	12
FADER（フェーダーカーブの設定）	13
クロスフェーダートルクの調整方法	13

USB 設定

USB モードの切り替え	14
USB オーディオ	14
USB オーディオ出力の設定	14
USB オーディオ入力の設定	14
MIDI	15
MIDI チャンネルの設定	15
MIDI クロックの設定	15
MIDI レイヤーの操作	15

Utility 設定

Utility 操作	18
Owner Setting モード	19
Preset Export	19
Preset Recall	19
Preset Import	19

主な仕様

系統図	21
-----	----

故障かな?と思ったら

保証と修理について

取り扱い上のご注意

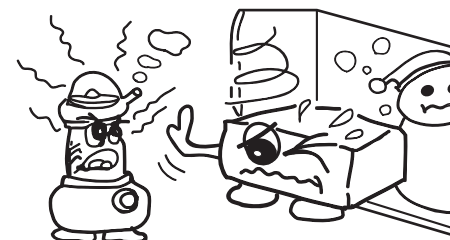
結露現象について

結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

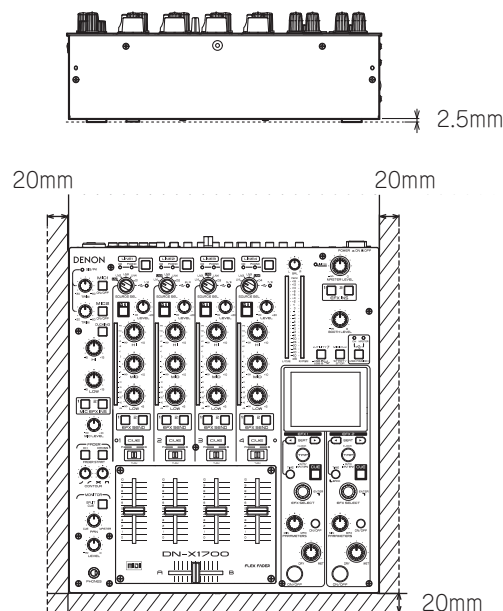


結露後の処置は

- 結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。
- ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

設置について

本機を設置箱や DJ ブースに設置するときは図の寸法の隙間を確保して取付してください。



テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、しま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってください。

FM や AM 放送を受信している場合

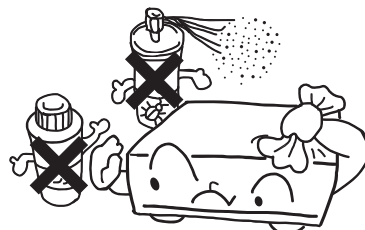
FM や AM 放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると FM や AM 放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切ってください。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

ふだん使わないとき

外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



移動させるとき

- 衝撃を与えないでください。

- 必ず、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。



ステレオ音のエチケット



- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

主な特長

- 本機は、4 系統 CD 及び PHONO 入力、4 系統デジタル入力、2 マイク入力と、2 系統マスタ出力、1 系統プース出力、1 系統 REC 出力、1 系統デジタル出力を基本構成とし、1 系統エフェクト入出力と 4 系統の USB オーディオ入出力を装備します。更に、USB MIDI 及び端子出力の MIDI インターフェイス機能を搭載する、96kHz/32bitDAC 対応の DJ フルデジタルミキサーです。

1. 高音質設計

- 96kHz/32bit フローディング DSP と、32bitDA コンバータ（マスター出力）を搭載。高精度で忠実な音質を提供します。
- EIN：127dB のローノイズディスクリートトランジスタ構成マイクアンプ、S/N：89dB のディスクリート FET 構成 PHONO アンプを搭載します。
- アナログ電源トランスは、ローノイズの R コアトランスを採用。電源部には、大容量の DENON DJ カスタム電解コンデンサを搭載。更に、音声信号処理部は、音質用フィルムコンデンサ、高精度金属皮膜抵抗を採用。圧倒的な高音質を実現します。

2. プロの現場に応える操作性と高信頼性設計

- 3.5inch 大型カラー LCD を搭載します。
- 6 系統から自由に入力ソースを選択できる、マトリクスソースセレクタを搭載します。
- チャンネルフェーダーは、30 万回の操作を保証する 60mm ロングストローク、高寿命コンダクティブプラスチックフェーダーを搭載します。
- クロスフェーダーの操作力を調整できるトルク調整機構を内蔵した FLEX FADER を搭載。自分好みの操作力に調整できます。
- 各インプットチャンネルにアイソレータ EQ を搭載。更に、各バンドのクロスポイント周波数はプリセットでカスタマイズ可能です。
- プッシュプル構成ディスクリートトランジスタドライブのヘッドホンアンプを搭載。400mW/40 Ω の高出力を実現し、どのような環境下でも、確実なモニタリングを支えます。

3. デュアルエフェクト

- 楽曲の BPM 値に同期して、設定された拍数に連動するエフェクタを、独立して 2 系統搭載。新開発ビートプレーカの他、ディレイ、エコー、リバーブ、ループ、フランジャー、フェーザー、ピッチシフト等 11 種類の多彩なエフェクタを内蔵します。
- 複数のインプットチャンネルの信号を同時にエフェクタに送出できる、エフェクトセンド構成を採用。A、B の系統別エフェクトグループによる演出などを可能とします。

4. USB オーディオ& MIDI インターフェイス

- 8ch（ステレオ 4 系統）96kHz USB オーディオ入出力機能。
- 低レイテンシを実現する ASIO ドライバを同梱します。
- USB オーディオ入力を 1 ボタンで、各種系統が切換えられる、USB アサインスイッチ機能を搭載します。
- DJ ソフトを各チャンネル毎に制御できる MIDI レイヤー機能を搭載。その他ほとんどのパネル面の操作を MIDI 出力でできます。
- 5pinDIN の MIDI 出力端子も搭載し、外部機器との同期に対応します。

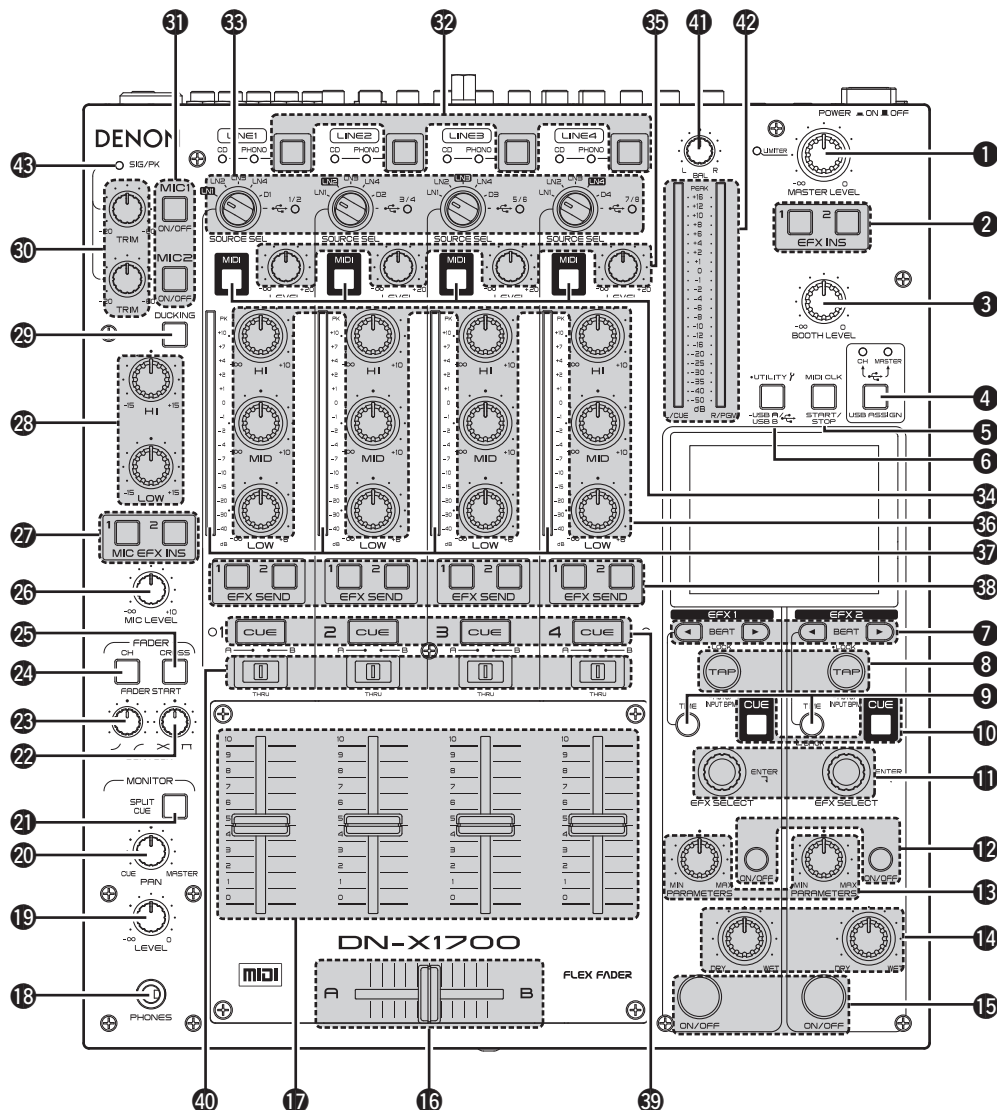
5. その他

- USB メモリ等でプリセットデータを持ち運びできるプリセットインポート / エクスポート機能を搭載。設定時間を短縮します。
- マイク入力時に背景音を減衰するダッキング機能を搭載します。
- チャンネルフェーダー、クロスフェーダースタート機能を搭載します。

各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、() 内のページを参照してください。

トップパネル



1 マスターレベル調整つまみ (MASTER LEVEL)

マスター出力のレベルを調整します。
LIMITER LED は、マスター出力リミッターの動作状態を表示します。

- リミッター OFF: 消灯
- リミッター ON: 緑色
- リミッター動作中: 赤色

2 マスターエフェクトインサージョンボタン (EFX INS 1, 2)

マスター出力信号に選択された側 (EFX1, 2) の、各種エフェクト効果が得られます。

3 ブースレベル調整つまみ (BOOTH LEVEL)

ブース出力のレベルを調整します。

4 USB オーディオ入力アサインボタン (USB ASSIGN CH/MASTER)

PC からの USB Audio 入力信号のアサイン先を切り替えます。

CH:

- CH (1 ~ 4) にアサインします。

MASTER:

- マスターバスおよびモニターバスにアサインします。

5 MIDI クロックボタン

(MIDI CLOCK START/STOP)

BPM 値に応じた MIDI クロックを USB MIDI および MIDI 出力端子から、PC (ソフトウェア) あるいは外部機器へ送信できます。

START: MIDI クロックを送信開始します。

STOP: MIDI クロックの送信を停止します。

6 ユーティリティ設定ボタン (UTILITY / - USB A/USB B)

各種プリセット設定、システム情報の設定・変更・参照ができます。

1 秒以上長押しすると USB モード切替画面が起動し、USB デバイスモードか USB ホストモードを選択できます。

7 ビート / タイム変更ボタン (BEAT ◀, ▶)

◀ (Short): ビート / タイムを減らします。

▶ (Long): ビート / タイムを増やします。

8 タップボタン (TAP LOCK/AUTO/INPUT BPM)

TAP:

- ボタンをくり返し押すと、押下間隔により BPM (Beat Per Minutes) 値を計測します。

LOCK:

- オート BPM モード中にこのボタンを 1 回押すと自動計測された BPM 値はロックされます。

AUTO BPM:

- 1 秒間このボタンを押し続けるとオート BPM モードになり、計測された BPM 値が表示されます。

INPUT BPM:

- 2 秒以上このボタンを押し続けると BPM インプットモードになり、7 ビート・タイム変更ボタンで、直接 BPM 値を入力できます。再度、このボタンを押すと本モードは解除されます。

9 ビート・タイムモード切り替えボタン (TIME/BACK) TIME:

- 7 ビート / タイム変更ボタンでエフェクト効果をビート (拍数) により変更するか、タイム (時間) により変更するかを選択します。

BACK (EFX 2 側のみ):

- 設定画面操作中に、前画面に戻る場合に使用します。

10 エフェクト CUE ボタン (CUE)

CUE ボタンを ON にすると、エフェクト OFF 状態でもエフェクト音声をモニターできます。(DELAY、ECHO、REVERB は除く)

11 エフェクト選択つまみ (EFX SELECT)

使用するエフェクトを選択します。
エフェクト機能 (10 ページ) を参照してください。

12 パラメータ ON/OFF ボタン (ON/OFF)

エフェクトパラメータの ON/OFF を制御します。

13 エフェクトパラメータ調整つまみ (PARAMETER MIN/MAX)

フィルターのカットオフ周波数等、エフェクタのパラメータを調整します。選択したエフェクタによりパラメータは変化します。

14 ドライ / ウェット調整つまみ (DRY/WET)

オリジナル音声とエフェクト音声の割合を調整します。

15 エフェクト ON/OFF ボタン (ON/OFF)

EFX 1, 2 それぞれのエフェクト効果を ON/OFF します。

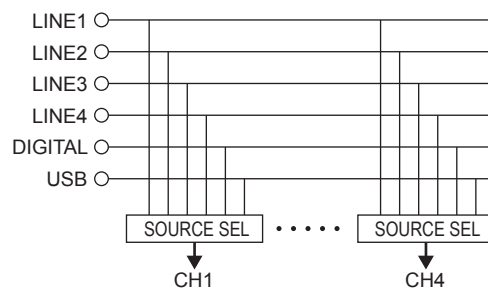
16 クロスフェーダー (CROSS FADER)

A と B をミックスした音のそれぞれの混合比率を調整します。

クロスフェーダーを左いっぱいになると A の音のみ出力されます。クロスフェーダーを右側に動かしていくと B の音が次第に増加していき、A の音は減少していきます。中央では A と B の音は同じ混合比率となり、右いっぱいにしたときは B の音のみ出力されます。

- 17 **チャンネルインプットフェーダー (CH FADER)**
選択された入力レベルを調整します。
- 18 **ヘッドホン出力ジャック (PHONES)**
1/4 インチのステレオヘッドホンプラグを接続します。
- 19 **ヘッドホンレベル調整つまみ (HEADPHONES LEVEL)**
ヘッドホンの音量を調整します。
- 20 **ヘッドホンパン調整つまみ (PAN)**
ヘッドホンでモニターする CUE 音声とマスター音声のバランスを調整します。
- 21 **スプリット CUE ボタン (SPLIT CUE)**
ヘッドホンモニタには 2 種類のモードがあります。
ステレオモード (SPLIT CUE OFF) :
 - キュー信号とマスター信号がステレオでモニタできます。**SPLIT CUE モード:**
 - モノラルのキュー信号がヘッドホンの左側から聞こえ、モノラルのマスター信号が右側から聞こえます。
- 22 **クロスフェーダーコンター調整つまみ (CROSS FADER CONTOUR)**
クロスフェーダーの立ち上がりレスポンスを調整します。
スムーズなロングランニングフェーダー (クロスミキシング操作) のときには滑らかなカーブに、トップパフォーマンスに必須なカットやスクラッチ効果のときには急激な立ち上がりカーブに調整できます。
- 23 **チャンネルフェーダーコンター調整つまみ (CH FADER CONTOUR)**
チャンネルフェーダーの立ち上がりレスポンスを調整します。
- 24 **チャンネルフェーダースタートスイッチ (CH FADER START)**
このスイッチによりチャンネルフェーダースタート機能を **ON/OFF** します。
- 25 **クロスフェーダースタートスイッチ (CROSS FADER START)**
このスイッチによりクロスフェーダーのスタート機能を **ON/OFF** します。
- 26 **マイク送出レベル調整つまみ (MIC SEND LEVEL)**
マイク信号のマスター出力への送出レベルを調整します。

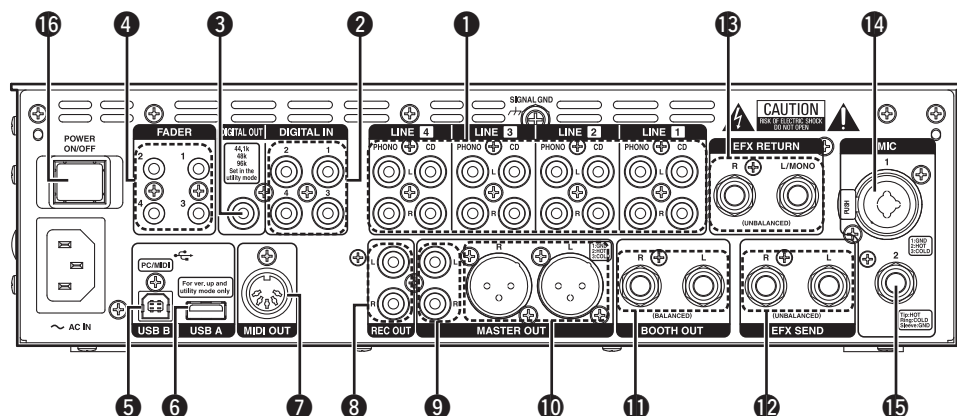
- 27 **マイクエフェクトインサージョンボタン (EFX INS 1、2)**
マイク入力信号に、選択された側 (EFX 1、2) の、各種エフェクト効果が得られます。
- 28 **マイク EQ 調整つまみ (HI/LOW)**
マイク入力の周波数特性を -15dB から +15dB まで調整します。
- 29 **ダッキング ON/OFF ボタン (DUCKING)**
ダッキング機能を **ON/OFF** します。このボタンが点灯しているとマイクを除いた信号のレベルが減衰します。
※ダッキングの減衰量は「UTILITY」で調整することができます。
- 30 **マイク 1、2 トリム調整つまみ (MIC1、2 TRIM)**
マイク信号のレベルを調整します。
- 31 **マイク 1、2 ON/OFF ボタン (MIC1、2)**
ボタンが点灯していると、マイク信号が有効になります。
- 32 **ライン入力選択ボタン (CD/PHONO)**
各チャンネルのライン入力を CD/PHONO で選択できます。
CD:
 - リアパネル LINE1 ~ 4 CD 端子入力。**PHONO:**
 - リアパネル LINE1 ~ 4 PHONO 端子入力。
- 33 **チャンネル入力ソース選択つまみ (SOURCE SEL LN1/LN2/LN3/LN4/D1 ~ 4 /USB)**
それぞれのチャンネルに 6 つの入力の中から選択する事ができます。また、同じ入力を他のチャンネルで選択することもできます。
DIGITAL 選択時は赤色、USB 選択時青色で点灯します。



- 34 **MIDI レイヤーセレクトボタン (MIDI)**
本ボタンが **ON** されると、選択されたチャンネルの操作子が MIDI コントローラとして機能します。また、EQ 調整つまみのリングが青色に点灯します。
- 35 **チャンネル入力レベル調整つまみ (LEVEL)**
選択された入力のレベルを調整します。
- 36 **チャンネルアイソレータ EQ 調整つまみ (HI、MID、LOW)**
選択した入力の周波数特性を変化します。中央位置では、周波数特性はフラットです。
-∞ で各帯域を完全にカットすることができます。
- 37 **チャンネルレベルメーター**
レベル 35 と、EQ 36 のレベル調整後のレベルを表示します。
- 38 **チャンネルエフェクトセンドボタン (EFX SEND 1、2)**
チャンネル音声信号に、選択された側 (EFX1、2) の、各種エフェクト効果が得られます。複数のチャンネルで同じエフェクト (EFX1、2) を選択することも可能です。
各チャンネルで選択された側の EFX ボタンが点灯します。
- 39 **チャンネルキューボタン (CUE)**
CUE ボタンを押すとそれぞれのソースがヘッドホンとメーターキューに送られます。キューボタンを複数押すとキューボタンにより選択されたチャンネルがミックスされます。
※ミックスしない SOLO モードもプリセット選択可能です。
- 40 **クロスフェーダーアサインスイッチ (A/THRU/B)**
A、B:
 - チャンネルのソースをクロスフェーダーの A または B に設定します。**THRU:**
 - チャンネルのソースをクロスフェーダーに設定しないときに選択します。
- 41 **マスターバランス調節つまみ (BAL)**
マスター出力の L/R のバランスを調整します。
- 42 **キューマスターレベルメーター (L/CUE、R/PGM)**
切り替えにより 2 つの表示モードが可能です。
スプリット CUE OFF:
 - マスター出力音声レベルを表示します。**スプリット CUE ON:**
 - 右チャンネルマスター CUE (モノラル)、左チャンネル CUE (モノラル) の音声レベルを表示します。

- 43 **SIG/PK**
マイク入力レベル用シグナル / ピークメータです。
消灯:
 - 入力無し。(− 60dBFS 未満)**緑色:**
 - 入力有り。(− 60dBFS 以上 ~ − 20dBFS 未満)**橙色:**
 - 入力適正レベル (− 20dBFS 以上 ~ − 6dBFS 未満)**赤色:**
 - 入力レベルオーバー (− 6dBFS 以上)

リアパネル



① フォノ1、2、3、4/CD1、2、3、4入力端子 (PHONO1、2、3、4、CD1、2、3、4)

このアンバランス型のステレオ RCA 端子は MM カートリッジ（ムービングマグネット式）のターンテーブル（RIAA）または CD プレーヤーのような機器を接続します。

② デジタル1、2、3、4入力端子

CD プレーヤー及びデジタルプレーヤーのデジタル出力端子を接続します。

③ デジタル出力（同軸）端子

（COAXIAL DIGITAL OUT）（44.1/48/96kHz）
この RCA 端子はデジタル出力データを出す端子です。この信号はマスターレベルの調整の影響を受けません。デジタル信号用（75 Ω / ohm）の RCA コードを使用することをお勧めします。（オーディオ / ビデオ店で購入できます。）

④ フェーダー出力端子（LINE1、2、3、4FADER）

この端子を DN-S1200、DN-S3700 等のフェーダー入力端子に接続します。接続には 3.5mm ステレオミニジャックを使用します。

⑤ USB B 端子

パソコンと接続し、USB MIDI、HID、USB オーディオ信号を送受信します。
USB 2.0 HighSpeed に対応します。

⑥ USB A 端子

USB メモリや USB HDD 等マストストレージデバイスを1台のみ接続可能です。
（※ USB HUB 非対応）
USB 2.0 HighSpeed に対応します。

⑦ MIDI 出力端子

5Pin DIN コネクタ出力
MIDI 対応機器と接続します。

⑧ 録音出力端子（REC OUT）

この端子は録音出力端子です。

⑨ マスター出力（アンバランス型）端子（MASTER OUT UNBALANCED）

この端子はアンバランスのライン出力端子です。
アンプや調整卓のアンバランスのアナログ入力端子に接続して使用します。

⑩ マスター出力（バランス型）端子（MASTER OUT BALANCED）

この XLR 端子はバランス型ライン出力の端子です。
アンプや操作卓のバランス型のアナログ主力端子へ接続して使用します。

ピン配置：

1. グランド (GND)
2. ホット (HOT)
3. コールド (COLD)

適応端子：

CANNON XLR-3-32 または同等品

⑪ ブースアウト端子（BOOTH）

この TRS 端子はトップパネルにもうけられているブースレベル調整つまみにより調整されるバランス型のライン出力端子です。

ピン配置：TRS

- Sleeve グランド (GND)
- Tip ホット (HOT)
- Ring コールド (COLD)

⑫ センド端子（SEND）/⑬ リターン端子（RETURN）

1/4 インチ TS タイプのジャックに対応した、外部エフェクター接続用端子です。
モノラル出力のエフェクターを使用するときは、Lch のみ接続します。

SEND（出力）：

- 外部エフェクターの入力端子に接続します。

RETURN（入力）：

- 外部エフェクターの出力端子に接続します。

⑭ MIC1 入力端子（MIC1）

XLR コネクタのバランス型または 1/4 インチ TRS プラグのバランス型コンボジャックで、マイクロホンを接続します。

ピン配置：

1. グランド (GND)
2. ホット (HOT)
3. コールド (COLD)

適応端子：

CANNON XLR-3-32 または同等品

⑮ MIC2 入力端子（MIC2）

1/4 インチ TRS プラグのバランス型マイクロホンを接続できます。

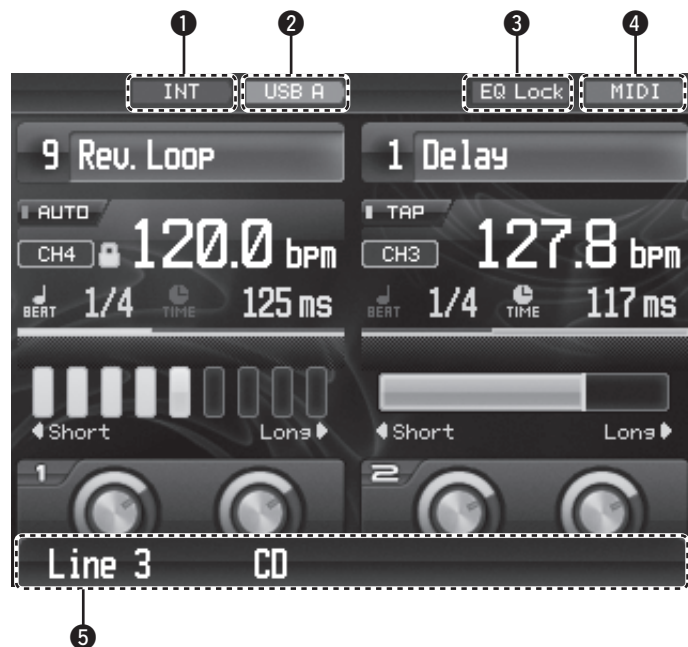
ピン配列：TRS

- Sleeve グランド (GND)
- Tip ホット (HOT)
- Ring コールド (COLD)

⑯ 電源スイッチ（POWER）

本機の電源を ON (■)、OFF (■) します。

ディスプレイ



① INT/ EXT インジケータ

現在使用している Preset の場所が表示されます。
 INT : 内部 Preset 情報を使用しています。
 EXT : USB デバイスに入っている Preset 情報を使用しています。

② USB A/USB B インジケータ

現在の USB モード表示されます。
 USB A : USB ホストモード
 USB B : USB デバイスモード

③ EQ Lock インジケータ

EQ 及びフェーダーがロックされた時に点滅します。

④ MIDI インジケータ

MIDI 通信を行なっているときに表示されます。

⑤ ナビゲーション・ディスプレイ

操作したときに現在の状況を表示します。

接続のしかた

接続の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続図を参照してください。

1. 接続の際は、AC 電源が『オフ』であることを確かめてください。
2. 高品質のオーディオ・ケーブルを使用することをお勧めします。
3. 過度に長いケーブルを使用しないでください。各種プラグは確実に挿入してください。不完全な接続はノイズ等を引き起こし、スピーカーを破損させる場合があります。
4. 音量調節つまみが全て『ゼロ』で、各機器の電源が『オフ』であることを確かめてください。
5. 入出力端子にケーブルを接続してください。
6. パワーアンプに出力を接続してください。

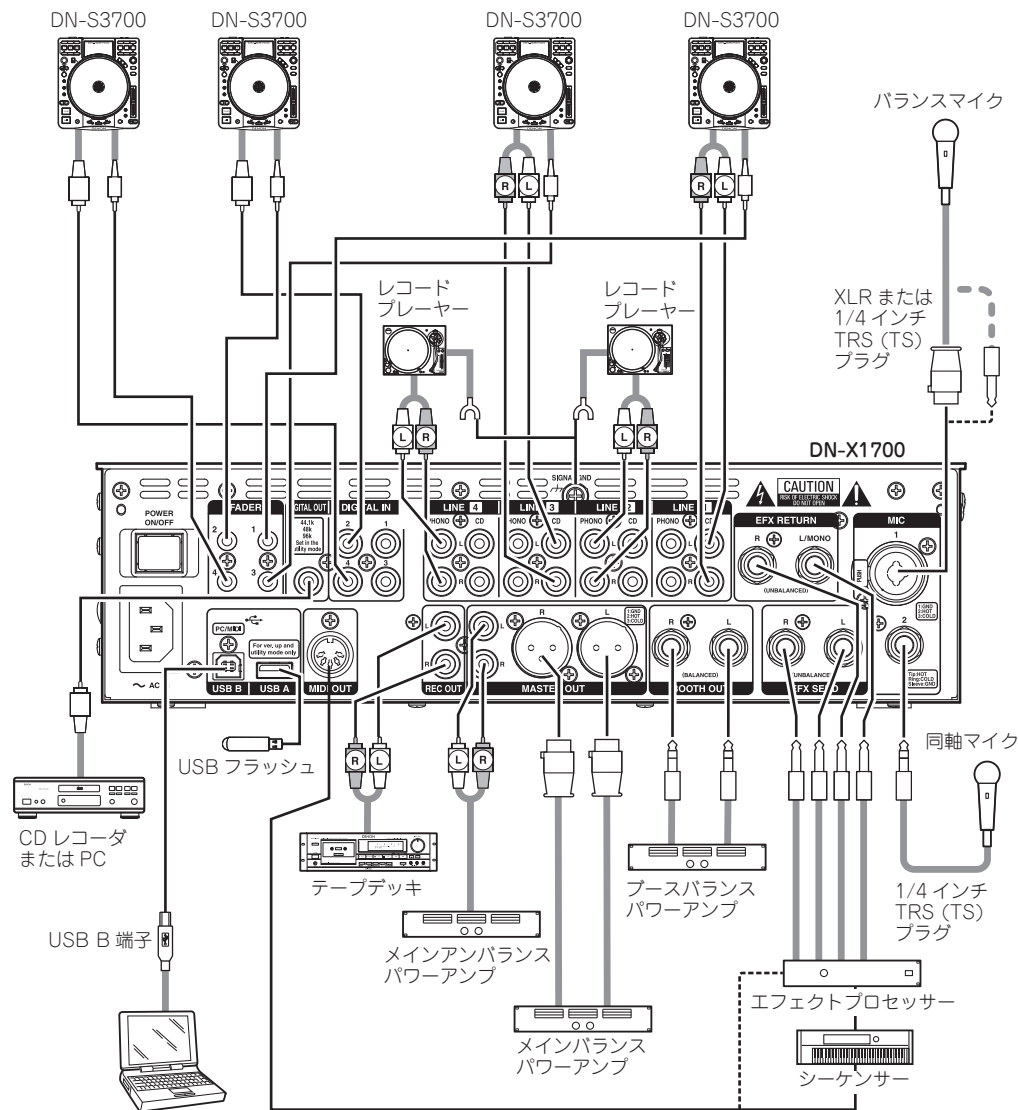
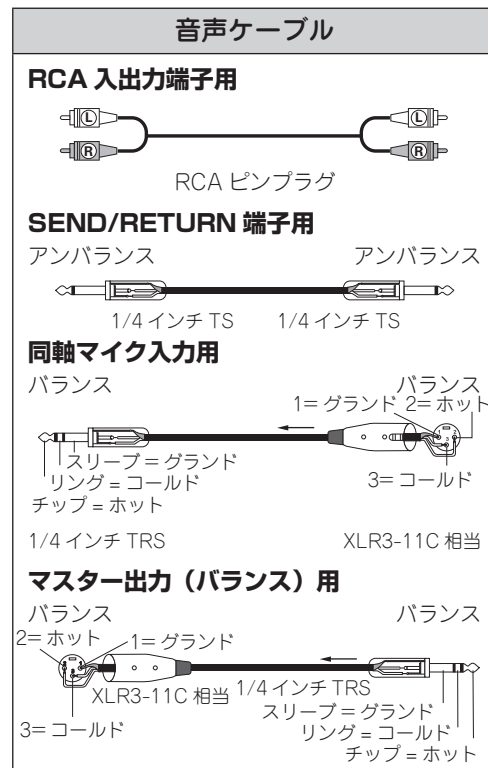
ご注意

- 電源を入れる場合は、最初に CD プレーヤーなどのオーディオ再生装置の電源を入れてください。その後、本機、そして最後にアンプの電源を入れてください。
- 電源を切る場合は、最初にアンプ、次に本機、そして次に CD プレーヤー等の再生装置の電源を切ってください。

準備

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。



ASIO ドライバーアプリケーションがインストールされているコンピューター

- 本機の接続可能なコンピューターの OS バージョン
Windows XP SP2, Vista, Mac OSX 10.4 またはそれ以上
この OS バージョン以外のコンピューターでは USB MIDI に対応していないため、本機と USB 接続後、コンピューターが異常動作する場合があります。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Computer Inc. の商標または登録商標です。

ご注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

基本操作

準備

- 1 **POWERスイッチ**をONにします。
- 2 使用する1から4のチャンネルのソース(LN1～LN4、D1～D4、USB)を**SOURCE SELECT**ノブで選択します。
LINE入力の、CD入力またはPHONO入力の選択は、各LINEの**SEL**ボタンで設定します。
- 3 レベルメーターを確認し、**チャンネル入力レベル調整**つまみで入力レベルの調整をします。
- 4 **チャンネルEQ**ノブ(HI、MID、LOW)で音質の調整をします。
- 5 **クロスフェーダーアサイン**スイッチにより、チャンネル信号のアサイン先を決定します。
クロスフェーダーを使用しないときは、THRUにします。
- 6 **チャンネルフェーダー**と**クロスフェーダー**で音量を調整します。
- 7 **MASTER LEVEL**ノブで出力レベルを調整します。

MIC (マイクの入力)

- 1 MICを使用するときは、**MIC1**または**MIC2**ボタンを押しONにします。
- 2 **MIC1 TRIM**つまみでMIC1の音量を調節し、**MIC2 TRIM**つまみでMIC2の音量を調節します。
音声を入力しながら、SIG/PKのLEDを監視して、LEDが時々赤が点灯しながら歪みが無く、アンバー点灯となる程度が適正な調整です。
- 3 マイクの**イコライザー**つまみHI、LOWで音質を調整します。
- 4 **DUCKING**スイッチをONにすると、マイクの入力があった時にマイク音声以外のすべての出力が減衰します。
- 5 マイク入力にエフェクト機能を加える場合は、**MIC EFX INS**をONにします。

ダッキング機能

ダッキング機能は、マイク入力を検出して、マスター出力の音楽信号レベルを減衰する機能です。マイクを使用する場合に、マイクの音声、音楽に埋もれてしまうのを防ぎます。

- 1 ダッキング機能を有効にするには、**DUCKING**ボタンをONにしてください。ボタンが点灯します。
- 2 ダッキングが動作する時のマスター出力の減衰レベルは、Utilityモードで、-30dB ± 10dBの範囲で設定できます。

MONITOR (ヘッドホンの出力)

- 1 各チャンネルの**CUE**ボタンでモニタするソースを選択します。選択されると**CUE**ボタンが点灯します。
チャンネル1～4とEFX1、EFX2のCUEモニタが選択できます。
- 2 STEREO/ SPLIT CUEモードの選択
SPLIT CUEボタンによりSTEREO/ SPLIT CUEモードの選択をします。選択されると**SPLIT CUE**ボタンが点灯します。
スプリットキュー(モノラル)モード時は、ヘッドホンの左側スピーカーにキュー選択された信号、右側スピーカーにはマスターの信号が出力されます。
STEREOモード時は、マスター信号と、キュー選択された信号が、ステレオで出力されます。
- 3 **PAN**ノブで、CUE信号と、マスタ出力信号のバランスを調整します。左に回すと、ヘッドホンからはCUE信号のみ出力されます。右に回すと、マスタ出力信号のみが出力されます。
- 4 **LEVEL**ノブで、お好みのヘッドホン出力レベルに調整します。

エフェクター機能

本機は、楽曲の BPM 値に同期して設定された、拍数に連動するエフェクタを、独立して 2 系統搭載しています。また、複数の入力チャンネルの信号を同時にエフェクタに送出できるエフェクトセンド構成を採用しており、A、B の系統別エフェクトグループによる演出や 2 系統のエフェクタを、チャンネル入力とマスター出力で異なるエフェクト効果を加える等、多彩な音響効果を演出できます。

[エフェクトの種類と動作内容]

No	エフェクト名	エフェクト動作内容
1	Delay	Beat 設定時間遅延した信号を加算します。
2	Echo	Beat 設定時間遅延のエコー信号を加算します。
3	Trans	Beat 設定時間で信号をカットします。
4	Flanger	Beat 設定の LFO 周期で遅延時間を可変した信号を加算します。
5	Filter	Beat 設定時間でフィルタカットオフを可変します。
6	Phaser	Beat 設定の LFO 周期で位相可変した信号を加算します。
7	Reverb	Beat 設定時間遅延のリバース信号を加算します。
8	Loop	当社 DJ 機器の LOOP 機能と同様のループサンプラー処理します。
9	Rev. Loop	上記ループ信号をリバース再生処理します。
10	Pitch Shift	入力信号をピッチシフト処理して出力します。
11	BeatBreaker	拍のアタック音をビートパターンに応じて部分挿入処理します。
12	SEND/RTN	外部エフェクタにエフェクト選択された信号を送受信します。 ※ EFX1、EFX2 で同時に選択する事はできません。 ※エフェクトパラメータ調整つまみ：リターンレベルボリュームとして動作します。

※正常なエフェクト効果を得るために、楽曲の拍数に合うように BPM 値を設定してください。

ビートブレイカー機能



1. BeatBreaker とは

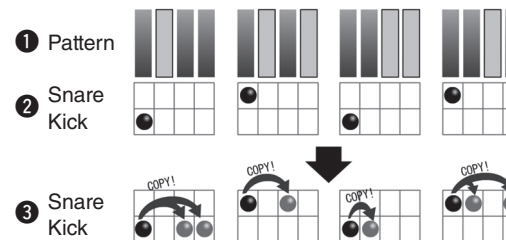
BeatBreaker は BPM 値から得られる 1 小節分の音楽信号を 1/4 拍ずつ 16 個に分解し、プリセットされたビートパターンに置き換えて再生することで、元々の楽曲のビートを変化させる効果を生むエフェクタです。

2. 動作内容

ビートパターンは、16 個のブロックで構成され、ブロックが点灯状態の時、その音声を拍の最初の音声に置き換えます。

エフェクトが ON になると、再生中のブロックが青く光ります。

例：



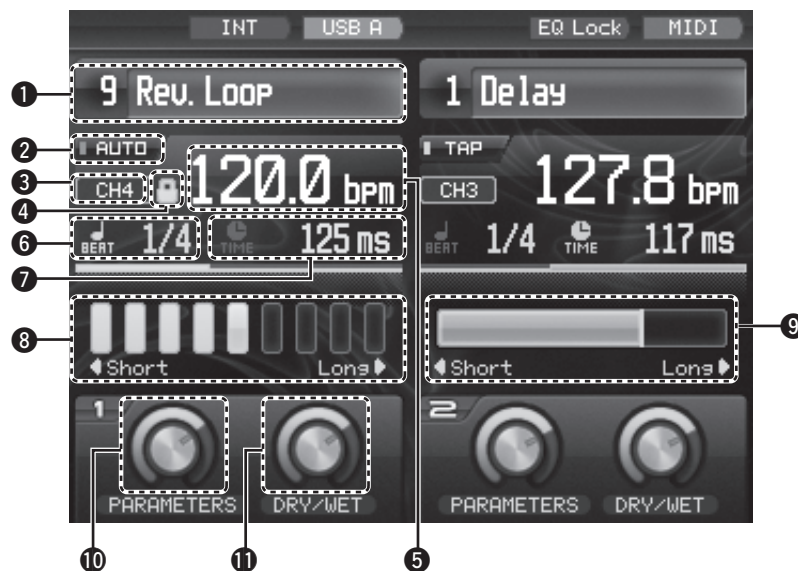
図の ① のパターンの場合、② の音楽信号が入力されると、最初 1/4 拍の音声が、点灯している部分に置き換えられた、③ の音声が出力されます。

3. 操作方法

エフェクト ON/OFF ボタンで、ON されたタイミングを先頭に効果を加えます。ビートパターンは、**Beat** ボタンで選択します。

Utility モードで 5 種類のユーザープリセットを作成することができます。

エフェクター画面



- ① **エフェクトディスプレイ**
選択中のエフェクト名称を表示します。
- ② **BPM モードインジケータ**
AUTO :
• BPM モードが AUTO BPM のとき AUTO を表示します。
TAP :
• TAP 入力モードのとき TAP を表示します。
INPUT :
• INPUT モードのとき INPUT を表示します。
- ③ **BPM ソースインジケータ**
• オート BPM 検出中の信号ソースを表示します。
- ④ **ロックアイコン**
• BPM がロックしているときに点灯します。
- ⑤ **エフェクター BPM ディスプレイ**
• 現在の BPM 値を表示します。
- ⑥ **ビートディスプレイ**
• ビート（拍数）設定値を表示します。
- ⑦ **タイムディスプレイ**
- ⑧ **ビートディスプレイバー**
- ⑨ **タイムディスプレイバー**
- ⑩ **パラメータノブインジケータ**
- ⑪ **ドライ / ウェットノブインジケータ**

エフェクター操作

エフェクターユニット及びチャンネルの選択

インプットチャンネルの場合：

EFX SEND 1/2 ボタンで、使用するエフェクトユニットを選択します。複数のチャンネルで同じエフェクトを選択可能です。

マイク入力、マスター出力の場合：





EFX INS 1/2 ボタンで、使用するエフェクトユニットを選択します。インサージョン動作となり、単一チャンネル選択です。

※全チャンネルとも、同時に両方のエフェクトユニットを選択する事はできません。

BPM の設定

- 1 オート BPM カウンターがオフのとき、TAP ボタンを約 1 秒以上押し続けているとオート BPM カウンターがオンになります。
- 2 オート BPM カウンターがオンのとき TAP ボタンを短く 1 回押すと、オート BPM で計測したデータがロックされます。
※オート BPM カウンターの計測チャンネルは、最後に EFX SEND/INS でエフェクトユニットを選択したチャンネルが有効となります。
- 3 TAP ボタンを 2 秒以上押し続けると、BPM マニュアルインプットが可能になります。BEAT ボタンを押して直接 BPM 値を設定できます。
- 4 TAP ボタンを繰り返し押し出す間隔により BPM が計測されます。

ビートの設定

- BEAT   ボタンを押して、拍数を設定します。
- TIME ボタンを押すと時間入力モードに切換えられます。
BEAT   ボタンで時間調整ができます。
- 再度 TIME ボタンを押すと、拍数の設定モードに戻ります。

エフェクトの選択

エフェクト選択つまみを回してエフェクトを選択し、つまみを押しで希望のエフェクトを確定します。

エフェクト ON/OFF

エフェクト ON/OFF ボタンを押すと、エフェクトを ON/OFF します。

フェーダースタート機能

チャンネルフェーダースタート

- チャンネル入力ソース選択つまみで LINE1 CD、LINE2 CD、LINE3 CD、LINE4 CD のいずれかの希望するソースを選びます。
- チャンネルフェーダースタートスイッチを ON にします。
- CH1、CH2、CH3 または CH4 のチャンネルインプットフェーダーつまみを下いっぱい位置にします。
- 接続された CD プレーヤーをスタンバイ状態にします。
- チャンネルインプットフェーダーつまみを上に動かすと、接続された CD プレーヤーが再生を開始します。その後、チャンネルインプットフェーダーつまみを下いっぱいに動かすと接続された CD プレーヤーは停止します。

クロスフェーダースタート

- チャンネル入力ソース選択つまみで LINE1 CD、LINE2 CD、LINE3 CD、LINE4 CD のいずれかの希望するソースを選びます。
- クロスフェーダーアサインスイッチを A または B に設定します。
- クロスフェーダースタートスイッチを ON にします。
- クロスフェーダーをスタートさせたい入力 (A) とは逆の方向いっぱいの位置に移動させます。
【例】A に接続された CD プレーヤーをスタートさせる場合
- 接続された CD プレーヤーをスタンバイ状態にします。
- クロスフェーダーコンター調整つまみを右いっぱいに回し、クロスフェーダーの立ち上がりを急なカーブに設定します。
- クロスフェーダーを反対方向に動かすと接続された CD プレーヤーは再生を開始します。

FADER(フェーダーカーブの設定)

1 チャンネルフェーダー
CONTOUR調整ノブを左に回すと立ち上がりが緩いカーブ特性、右に回すと立ち上がりが急なカーブ特性になります。中心位置では上記の中間的なカーブ特性になります。
※チャンネル1～4は同じカーブ特性になります。

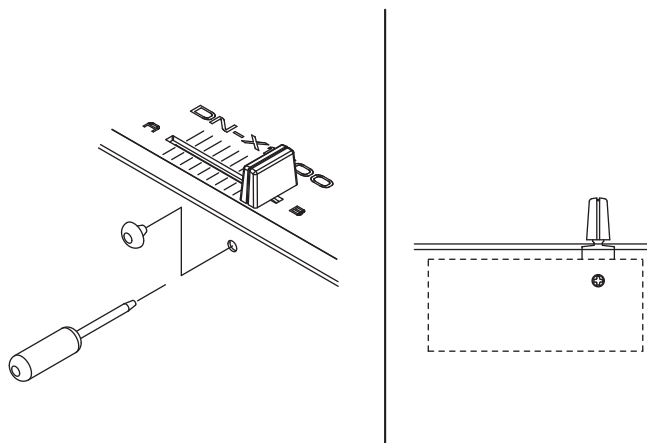
2 クロスフェーダー
CONTOUR調整ノブを左に回すと立ち上がりが緩いカーブ特性になります。
右に回すと立ち上がりが急峻な特性になり、カットイン/カットアウトします。
中心位置では上記の中間的なカーブ特性になります。

クロスフェーダートルクの調整方法

- 1** 前面パネルのゴムキャップをはずします。
- 2** クロスフェーダーを右端に移動し、ネジ頭が見える状態にします。
- 3** ドライバを挿入して、摺動トルクを調整します。
右回したとき：摺動トルクが増えて動作が重くなります。
左回したとき：摺動トルクが減り動作が軽くなります。
- 4** 前面パネルのゴムキャップを取り付けます。

ご注意

- クロスフェーダーは精密な構造となっているため、無理な締め付けやゆるめすぎると壊れたり、性能に影響をおよぼす場合があります。



USB 設定

USB モードの切り替え

USB A 端子 (USB ホストモード) と、USB B 端子 (USB デバイスモード) の各動作モードで、以下の機能を実現します。

USB A :

- プリセットデータインポート / エクスポート機能
- バージョンアップ

USB B :

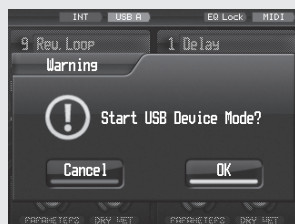
- USB オーディオインターフェイス機能
- USB MIDI インターフェイス機能

電源投入時の動作モードは、Utility 設定で選択できます。
(工場出荷時: USB A)

USB A (ホストモード) から、USB B (デバイスモード) に切り替えるには

1 UTILITY ボタンを 1 秒押します。

2 以下の画面に移行します。



3 EFX2 のエフェクト選択つまみで OK/Cancel を選択し、つまみを押して確定します。

4 インジケータが、USB-A から USB-B に変わり、デバイスモードが動作します。
(※ USB B 端子にコンピュータが接続されていない状態が一定時間経過すると、インジケータは USB-A に変わり、自動的にホストモードに切り替わります。)

5 再び、ホストモードを選択する場合は、UTILITY ボタンを 1 秒押して同様の手順で設定します。

USB オーディオ

本機は、最大、8ch (ステレオ 4 系統)、24bit、96kHz の USB オーディオ入出力のサウンドカード機能を搭載しています。サンプリング周波数は、44.1k、48k、96kHz から、Utility 設定で選択できます。(工場出荷時: 96kHz)

※ Windows XP、Vista 等の OS のコンピュータと接続する場合は、付属の CD-ROM の DENON DJ ASIO ドライバ Ver2 をインストールして下さい。Ver1 のドライバを既にインストールされている場合は、Ver1 をアンインストール後に、Ver2 のドライバをインストールして下さい。

※ 使用するコンピュータに応じて、Utility 設定の System Setting → PC/MAC 項を設定して下さい。

USB オーディオ出力の設定

USB オーディオ出力は、1 ~ 4 のインプットチャンネル (Pre EQ)、マイク入力 (Post Send VR)、マスター出力 (Pre Limiter)、REC 出力から任意の 4 系統の、音声ソースを選択できます。

USB オーディオ出力レベルは、Utility 設定で、調整可能です。

1 UTILITY ボタンを押します。Utility 設定画面が表示されます。

2 EFX2 のエフェクト選択つまみで、Audio Setting → USB Audio setting → Output Source Select を選択します。表示される選択画面で、各 USB 出力チャンネルにアサインする音声ソースを選択します。

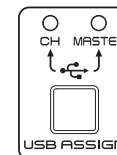
3 UTILITY ボタンを押します。Utility 設定モードを終了します。

USB オーディオ入力の設定

USB オーディオ入力のアサイン先は、以下の 2 つのモードを、**USB オーディオ入力アサイン** ボタンで設定します。

選択された側の LED が点灯します。

USB オーディオ入力レベルは、Utility 設定で、調整可能です。モード毎に、調整値を記憶します。



① CH INPUT モード

DJ ソフトウェアのミキサー機能を使用せずに、DN-X1700 でミックスする場合に選択します。

各 USB オーディオ入力信号を、以下に示す構成でアサインします。

USB 1/2 チャンネル入力 → インプットチャンネル1

USB 3/4 チャンネル入力 → インプットチャンネル2

USB 5/6 チャンネル入力 → インプットチャンネル3

USB 7/8 チャンネル入力 → インプットチャンネル4

② MASTER モード

DJ ソフトウェアのミキサー機能を使用して、DN-X1700 と併用する場合に本モードを選択します。

各 USB オーディオ入力信号を、以下のバスにアサインします。

USB 1/2 チャンネル入力 → マスターバス

USB 3/4 チャンネル入力 → CUE モニターバス

USB 5/6 チャンネル入力 → 無効

USB 7/8 チャンネル入力 → 無効

DJ ソフトのミキサー出力を、DN-X1700 で内部バスミックスします。

※ DJ ソフトウェアのオーディオ出力設定は、上記仕様に合わせてください。

MIDI

本機は、USB MIDI 入出力と、5pinDIN の MIDI 出力機能を搭載しています。
ほぼ全ての操作子の MIDI コントロール機能と、MIDI クロックに対応します。

MIDI チャンネルの設定

- 1 UTILITY ボタンを押します。
- 2 EFX2 のエフェクト選択つまみで、MIDI Setting → MIDI INPUT CH もしくは MIDI OUTPUT CH を選択します。
各 MIDI チャンネルを設定します。

MIDI クロックの設定

EFX2 で、設定された BPM 値に同期した、MIDI クロックを出力します。(60 ~ 300BPM)

- 1 MIDI CLK ボタンを押します。
- 2 USB MIDI、MIDI 出力端子から、MIDI クロックが出力されます。MIDI CLK ボタンが点灯します。

MIDI レイヤーの操作

各インプットチャンネルは、MIDI コントローラとして外部機器及びソフトをコントロールする、MIDI レイヤー機能を搭載しています。

- 1 MIDI ボタンを押します。EQ 調整つまみのリングが青色に変わり、MIDI レイヤー動作します。
- 2 パネル面の操作に応じて MIDI コマンドを出力します。
操作内容は DN-X1700 に反映されません。また、MIDI 信号を受信して LED を点灯 / 消灯します。
 - MIDI 出力動作ブロック
EQ 調整つまみ (HI/MID/LOW)、EFX SEND 1/2 ボタン、CUE ボタン、チャンネルフェーダー
 - MIDI 入力動作ブロック
チャンネルレベルメータ、EFX SEND 1/2 ボタン、CUE ボタン表示
- 3 MIDI ボタンを再度押すと、EQ 調整つまみのリングがアンバーに変わり、MIDI レイヤー動作を終了します。操作内容は、MIDI 出力されずに、DN-X1700 に反映されます。
- 4 MIDI レイヤー終了時の EQ 調整つまみ、及びインプットフェーダーの位置と、DN-X1700 の内部状態が異なる場合、DN-X1700 は、各操作子の位置を反映せずに、内部状態をロックします。ロック中は、EQ 調整つまみのリングを点滅します。
- 5 ロック中の操作子を操作すると、ロック画面が表示され、ロックアイコンと、ロック位置(赤色ライン)を示します。
- 6 操作子がロック位置と合致すると、ロックが解除され、操作内容が DN-X1700 に反映されます。

MIDI コマンドリスト

送信コマンド

	Items	MIDI command		
		Command	Number	Value
CH1	EQ HIGH VR	0xBn	0x02	0x00 to 0x7F
	EQ MID VR	0xBn	0x03	0x00 to 0x7F
	EQ LOW VR	0xBn	0x04	0x00 to 0x7F
	FADER	0xBn	0x05	0x00 to 0x7F
	EFFECT SEND1	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x01	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SEND2	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x02	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	CUE	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x03	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	MIDI LAYER mode	0xBn	0x46	OFF : 0x00 / ON : 0x7F
CH2	EQ HIGH VR	0xBn	0x08	0x00 to 0x7F
	EQ MID VR	0xBn	0x09	0x00 to 0x7F
	EQ LOW VR	0xBn	0x0A	0x00 to 0x7F
	FADER	0xBn	0x0B	0x00 to 0x7F
	EFFECT SEND1	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x05	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SEND2	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x06	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	CUE	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x07	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	MIDI LAYER mode	0xBn	0x47	OFF : 0x00 / ON : 0x7F
CH3	EQ HIGH VR	0xBn	0x0D	0x00 to 0x7F
	EQ MID VR	0xBn	0x0E	0x00 to 0x7F
	EQ LOW VR	0xBn	0x0F	0x00 to 0x7F
	FADER	0xBn	0x10	0x00 to 0x7F
	EFFECT SEND1	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x09	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SEND2	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x0A	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	CUE	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x0B	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	MIDI LAYER mode	0xBn	0x48	OFF : 0x00 / ON : 0x7F
CH4	EQ HIGH VR	0xBn	0x012	0x00 to 0x7F
	EQ MID VR	0xBn	0x13	0x00 to 0x7F
	EQ LOW VR	0xBn	0x14	0x00 to 0x7F
	FADER	0xBn	0x15	0x00 to 0x7F
	EFFECT SEND1	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x0D	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SEND2	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x0E	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	CUE	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x0F	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	MIDI LAYER mode	0xBn	0x49	OFF : 0x00 / ON : 0x7F
CROSS FADER	CROSS FADER	0xBn	0x16	0x00 to 0x7F
MASTER	MASTER LEVEL VR	0xBn	0x19	0x00 to 0x7F
	BALANCE VR	0xBn	0x1A	0x00 to 0x7F
	BOOTH LEVEL VR	0xBn	0x1B	0x00 to 0x7F
	EFFECT INSERT1	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x11	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT INSERT2	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x12	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00

	Items	MIDI command		
		Command	Number	Value
EFFECT1	BEAT UP	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x16	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	BEAT DOWN	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x17	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	TAP	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x18	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	TIME	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x19	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	CUE	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x1A	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SELECT KNOB SW	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x1B	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	PARAMETER SW	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x1C	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT ON/OFF	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x1D	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SELECT KNOB	0xBn	0x44	Increment 0x00 Decrement 0x7F
	PARAMETER VR	0xBn	0x1C	0x00 to 0x7F
EFFECT2	BEAT UP	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x1E	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	BEAT DOWN	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x1F	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	TAP	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x20	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	TIME	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x21	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	CUE	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x22	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SELECT KNOB SW	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x23	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	PARAMETER SW	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x24	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT ON/OFF	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x25	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	EFFECT SELECT KNOB	0xBn	0x45	Increment 0x00 Decrement 0x7F
	PARAMETER VR	0xBn	0x1E	0x00 to 0x7F
MIC/PHONES	DRY/WET VR	0xBn	0x1D	0x00 to 0x7F
	MIC EQ HIGH VR	0xBn	0x21	0x00 to 0x7F
	MIC EQ LOW VR	0xBn	0x22	0x00 to 0x7F
	MIC SEND LEVEL VR	0xBn	0x23	0x00 to 0x7F
	MIC1 ON/OFF	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x26	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	MIC2 ON/OFF	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x27	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	MIC EFFECT INSERT1	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x28	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	MIC EFFECT INSERT2	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x29	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	DUCKING	SW ON : 0x9n / SW OFF : 0x8n	0x2A	SW ON : 0x40 / SW OFF : 0x00
	Others	Utility mode	0xBn	Utility mode on : 0x7F Utility mode off : 0x00

* n=MIDI CH

	Items	MIDI command		
		Command	Number	Value
	LED	0xBn	↑	
CH1	Level Meter -40dB		ON TRG : 0x50 OFF TRG : 0x51	0x01
	Level Meter -30dB		↑	0x02
	Level Meter -20dB		↑	0x03
	Level Meter -15dB		↑	0x04
	Level Meter -10dB		↑	0x05
	Level Meter -7dB		↑	0x06
	Level Meter -4dB		↑	0x07
	Level Meter -2dB		↑	0x08
	Level Meter -1dB		↑	0x09
	Level Meter 0dB		↑	0x0A
	Level Meter 1dB		↑	0x0B
	Level Meter 2dB		↑	0x0C
	Level Meter 4dB		↑	0x0D
	Level Meter 7dB		↑	0x0E
	Level Meter 10dB		↑	0x0F
	Level Meter PEAK		↑	0x10
CH2	Level Meter -40dB		↑	0x11
	Level Meter -30dB		↑	0x12
	Level Meter -20dB		↑	0x13
	Level Meter -15dB		↑	0x14
	Level Meter -10dB		↑	0x15
	Level Meter -7dB		↑	0x16
	Level Meter -4dB		↑	0x17
	Level Meter -2dB		↑	0x18
	Level Meter -1dB		↑	0x19
	Level Meter 0dB		↑	0x1A
	Level Meter 1dB		↑	0x1B
	Level Meter 2dB		↑	0x1C
	Level Meter 4dB		↑	0x1D
	Level Meter 7dB		↑	0x1E
	Level Meter 10dB		↑	0x1F
	Level Meter PEAK		↑	0x20
CH3	Level Meter -40dB		↑	0x21
	Level Meter -30dB		↑	0x22
	Level Meter -20dB		↑	0x23
	Level Meter -15dB		↑	0x24
	Level Meter -10dB		↑	0x25
	Level Meter -7dB		↑	0x26
	Level Meter -4dB		↑	0x27
	Level Meter -2dB		↑	0x28
	Level Meter -1dB		↑	0x29
	Level Meter 0dB		↑	0x2A
	Level Meter 1dB		↑	0x2B
	Level Meter 2dB		↑	0x2C
	Level Meter 4dB		↑	0x2D
	Level Meter 7dB		↑	0x2E
	Level Meter 10dB		↑	0x2F
	Level Meter PEAK		↑	0x30

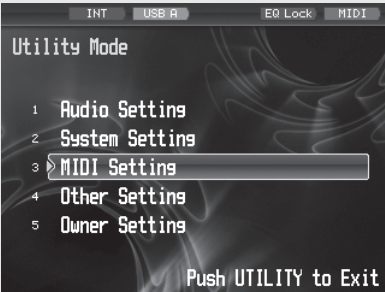
	Items	MIDI command		
		Command	Number	Value
	LED	0xBn	↑	
CH4	Level Meter -40dB		↑	0x31
	Level Meter -30dB		↑	0x32
	Level Meter -20dB		↑	0x33
	Level Meter -15dB		↑	0x34
	Level Meter -10dB		↑	0x35
	Level Meter -7dB		↑	0x36
	Level Meter -4dB		↑	0x37
	Level Meter -2dB		↑	0x38
	Level Meter -1dB		↑	0x39
	Level Meter 0dB		↑	0x3A
	Level Meter 1dB		↑	0x3B
	Level Meter 2dB		↑	0x3C
	Level Meter 4dB		↑	0x3D
	Level Meter 7dB		↑	0x3E
	Level Meter 10dB		↑	0x3F
	Level Meter PEAK		↑	0x40
CH1	EFX SEND1		↑	0x41
	EFX SEND1 Dimmer		↑	0x42
	EFX SEND2		↑	0x43
	EFX SEND2 Dimmer		↑	0x44
	CUE		↑	0x45
	CUE Dimmer		↑	0x46
CH2	EFX SEND1		↑	0x47
	EFX SEND1 Dimmer		↑	0x48
	EFX SEND2		↑	0x49
	EFX SEND2 Dimmer		↑	0x4A
	CUE		↑	0x4B
	CUE Dimmer		↑	0x4C
CH3	EFX SEND1		↑	0x4D
	EFX SEND1 Dimmer		↑	0x4E
	EFX SEND2		↑	0x4F
	EFX SEND2 Dimmer		↑	0x50
	CUE		↑	0x51
	CUE Dimmer		↑	0x52
CH4	EFX SEND1		↑	0x53
	EFX SEND1 Dimmer		↑	0x54
	EFX SEND2		↑	0x55
	EFX SEND2 Dimmer		↑	0x56
	CUE		↑	0x57
	CUE Dimmer		↑	0x58

* n=MIDI CH

Utility 設定

Utility 操作

ユーティリティモードでは、機器内部の各種プリセットデータが設定できます。



- 1

UTILITY ボタンを押すとユーティリティ画面が表示されます。
- 2

EFFECT SELECT2 ノブを使って項目を選択し、ノブを押下して項目を確定します。
確定されると、以下の表に示す階層で、項目及びデータが切り替わります。
選択を戻すには **BACK** ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。
- 3

ユーティリティモード中、UTILITY ボタンを押し、ユーティリティモードをオフにします。
設定されたデータが内部に記憶されます。

プリセット項目及びデータ

Category	Item	Parameter	Value	Default Settings
1 Audio Setting	1 Master Setting	1 MONO	ON / OFF	OFF
	2 Mic Setting	1 Ducking Level	-20dB to -40dB	-30dB
		1 Hi	1kHz to 4kHz	2kHz
		2 Low	500Hz to 2kHz	1kHz
		3 Default		-
	3 Isolator EQ	3 Mic to Booth/Rec	ON / OFF	OFF
		1 X.Over Hi	1kHz to 8kHz	2kHz
		2 X.Over Low	100Hz to 800Hz	350Hz
		3 Default		-
	4 Cue Setting	1 Cue Mode *1	CUE (Mix) / Solo	CUE (Mix)
	5 Head Phones EQ	1 EQ Hi	-15dB to +15dB	0dB
		2 EQ Low	-15dB to +15dB	0dB
		3 Default		-
	6 EFX Rtn	1 Unity Level Select	-10dBV / 0dBV	-10dBV
	7 USB Audio Setting	1 OutputSourceSelect	1 USB1 / USB2	Master
			2 USB3 / USB4	Mic
			3 USB5 / USB6	CH2
			4 USB7 / USB8	CH3
		2 Output Level VR	-20dB to +20dB	0dB
	8 Digital I/O Setting	3 CH Input Level VR	-20dB to +20dB	-6dB
		4 Mas Input Level VR	-20dB to +20dB	-6dB
		5 Cue Input Level VR	-20dB to +20dB	-6dB
		1 Digital Output VR	-20dB to +20dB	0dB
		2 Digital Input Level	CH1	-2dB / -8dB / -14dB
			CH2	-2dB / -8dB / -14dB
			CH3	-2dB / -8dB / -14dB
			CH4	-2dB / -8dB / -14dB
	9 X-Fader Setting	1 A Side Cut Position *2	-2.0mm to +8.0mm	0.0mm
		2 B Side Cut Position *2	-2.0mm to +8.0mm	0.0mm
2 System Setting	10 Beat Breaker Setting		1 to 5	1
	1 Sampling Frequency		44.1KHz / 48KHz / 96KHz	96kHz
	2 Display Brightness		1 to 40	27
	3 Display Backlight		1 to 25	5
	4 Display Contrast		1 to 16	15
	5 PC/MAC*3		PC Mode / MAC Mode	PC Mode
3 MIDI Setting	6 Version(SYS)		XXXX	-
	1 MIDI INPUT CH		1 to 16, OMNI	1
	2 MIDI OUTPUT CH		1 to 16	1
	3 MIDI Output Enable	1 5Pin	ON / OFF	ON
		2 USB	ON / OFF	ON
	4 MIDI CLK	1 5Pin	ON / OFF	ON
		2 USB	ON / OFF	ON
4 Other Setting	1 Preset Export		Exit / Execute*4	Exit
	2 DN-X1700 Initialize		Exit / Execute*5	Exit
5 Owner Setting	Display only			

※1 CUE モードを solo に設定すると、後押し優先で沢一の **CUE** ボタンのみが有効になります。
※2 クロスフェーダーのカットポジションを、各サイド個別に調整できます。
※3 Windows XP, Vista 等の OS のコンピュータと接続する場合は、PC Mode に設定して下さい。
Mac OSX 等の OS のコンピュータと接続する場合は、MAC Mode に設定して下さい。
※4 本 Preset 設定内容及び、Owner モードの設定内容を、外部の USB メモリ等に保存できます。
※5 本 Preset 設定を工場出荷時状態に設定します。

Owner Setting モード

UTILITY ボタンを押しながら電源スイッチをオンにすると、本モードが起動され、以下の内容が設定可能となります。
Owner Setting モードを解除するには、電源スイッチをオフにしてください。

Parameter	Value	Default
1. Limiter	OFF / ON	OFF
2. Limiter Threshold	20dB to 10dB	20dB
3. Digital Output FS	INT / 44.1kHz / 48kHz / 96kHz	44.1kHz
4. Power ON USB Mode	USB A / USB B	USB A
5. Preset Import	Exit / Execute* ¹	-
6. DN-X1700 Initalize	Exit / Execute* ²	-

※ 1 外部に保存した Preset 内容で、内部メモリを更新して機器に反映します。

※ 2 Owner Setting と Preset 内容を全て工場出荷状態に設定します。

Preset Export

1 USB メモリを本機に接続して、Utility 設定で、Preset Export を実行します。

2 Preset の状態を USB メモリへ書込みます。

※既にエクスポートファイルがある場合は、上書きの確認画面が表示されます。

Preset Recall

1 エクスポートファイルのある USB メモリを DN-X1700 に挿入するか、挿入した状態で電源を入れます。

2 プリセット内容を読み出す確認画面が表示されます。

3 OK を選択すると、エクスポートファイルのプリセットの Audio Setting、MIDI Setting の内容が呼び出されます。(DN-X1700 内部のプリセット記憶情報は更新されません。)

4 USB メモリを抜くと、プリセット内容を読み出す前の状態に戻す確認画面が表示されます。(キャンセルはできません。)

5 OK を選択すると、プリセット内容は、呼び出し前の状態に戻ります。

※呼び出した後に、USB B モードに切替えてもコンピュータと接続中は、プリセット内容は保持します。

Preset Import

1 Owner Setting モードの状態、エクスポートファイルのある USB メモリを DN-X1700 に挿入するか、挿入した状態で Owner Setting モードを起動します。

2 プリセットメモリを更新する確認画面が表示されます。

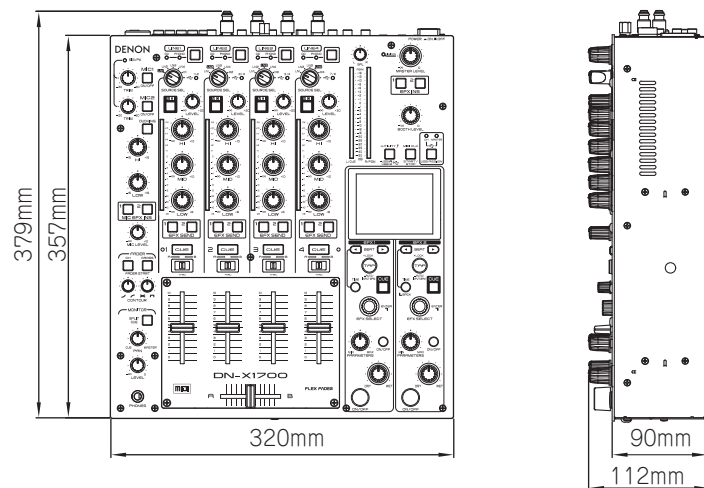
3 OK を選択すると、プリセットメモリの内容が、エクスポートファイルの内容に更新されます。

※更新前のデータは保持されませんので注意して下さい。

主な仕様

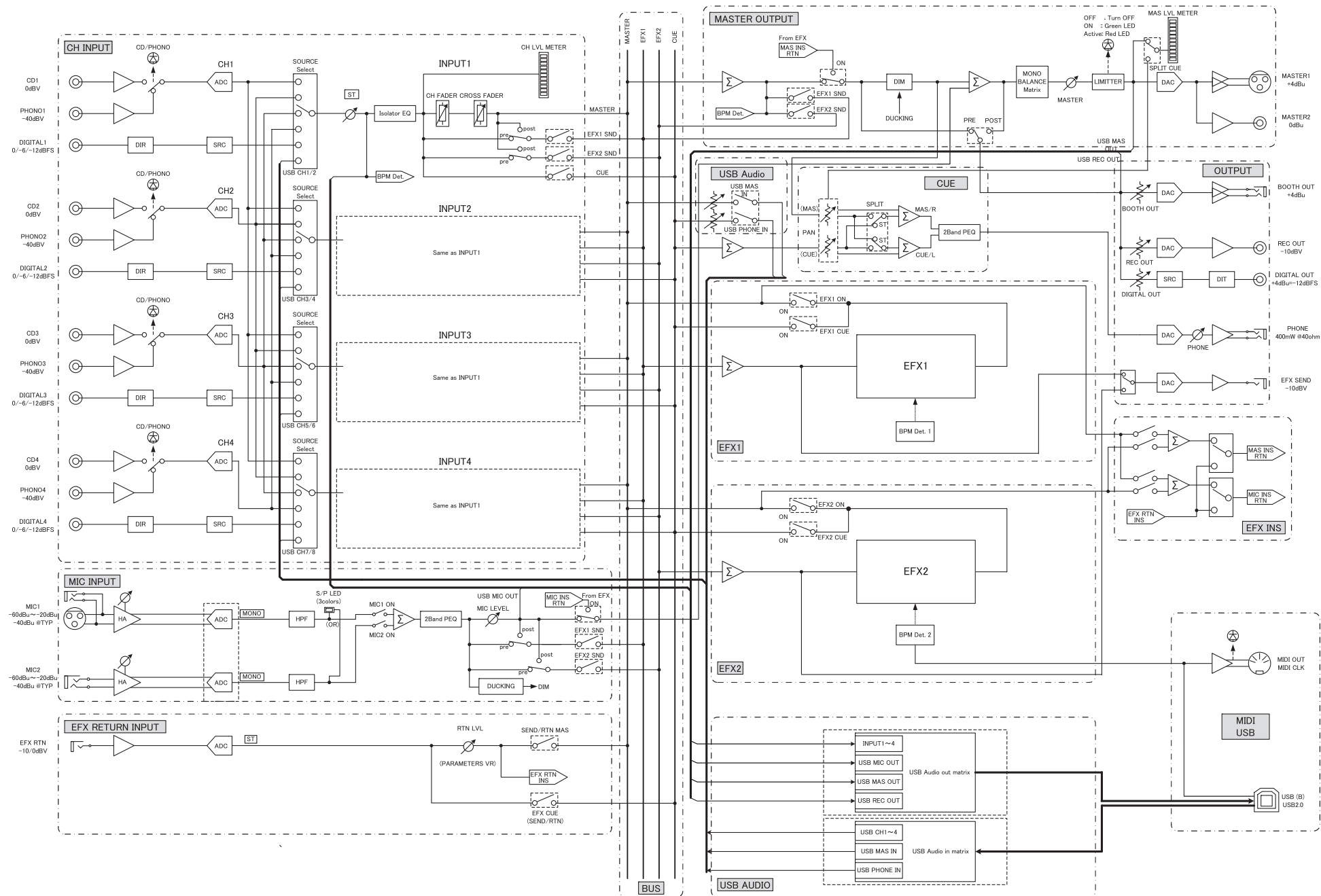
□ オーディオ部		(0dBu = 0.775Vrms, 0dBV = 1Vrms)
• PHONO 入力	4 ステレオ	アンバランス RCA 端子
入力インピーダンス:	47k Ω	
レベル:	− 40dBV (10mV)	
• CD 入力	4 ステレオ	アンバランス RCA 端子
入力インピーダンス:	10k Ω	
レベル:	0dBV	
• イコライザー (LINE)	3 バンド	
チャンネル EQ 調整範囲:	HI (高域): −∞, − 90dB ~ + 10dB	
	MID (中域): −∞, − 90dB ~ + 10dB	
	LOW (低域): −∞, − 90dB ~ + 6dB	
	2 モノラル	1/4 インチ TS 端子
• RETURN 入力	10k Ω	
入力インピーダンス:	− 10dBV/0dBV (Default: − 10dBV)	
レベル:		
• MIC 入力	2 モノラル	
MIC1:	バランスとアンバランス	XLR と 1/4 インチ TS 端子
	(1: グランド、2: ホット、3: コールド)	
MIC2:	バランス	1/4 インチ TRS 端子
	(チップ: ホット、リング: コールド、スリーブ: グランド)	
入力インピーダンス:	5k Ω	
レベル:	− 60 ~ − 20dBu	
EIN:	− 127dBu 以下 (Rs = 150 Ω)	
CMRR:	80dB 以上 (1kHz)	
• イコライザー (MIC)	2 バンド	
調整範囲:	HI (高域): − 15 ~ + 15dB	
	LOW (低域): − 15 ~ + 15dB	
• デジタル同軸入力	4 ステレオ IEC958 Consumer (Fs: 32kHz ~ 96kHz)	RCA 端子
• USB オーディオ入力	4 ステレオ (8 モノラル) 24bit, Fs: 44.1k/48K/96kHz	USB B
• MASTER 出力		
バランス:	ステレオ、バランス	XLR 端子
	(1: グランド、2: ホット、3: コールド)	
DA コンバータ:	32bit 128 倍オーバーサンプリングアドバンスドマルチビット	
負荷インピーダンス:	600 Ω 以上	
レベル:	+ 4dBu	
周波数特性:	20Hz ~ 20kHz (± 0.5dB)	
THD:	0.05%以下	
S/N 比:	100dB	
	89dB (Phono)	
クロストーク:	− 110dB 以下 (1kHz)	
アンバランス:	ステレオ RCA 端子	
負荷インピーダンス:	10k Ω	
レベル:	0dBu	

• REC 出力	ステレオ	アンバランス RCA 端子
負荷インピーダンス:	10k Ω	
レベル:	− 10dBV	
• BOOTH 出力	ステレオ	バランス 1/4 インチ TS 端子
	(チップ: ホット、リング: コールド、スリーブ: グランド)	
負荷インピーダンス:	600 Ω 以上	
レベル:	+ 4dBu	
• SEND 出力	2 モノラル	アンバランス 1/4 インチ TS 端子
負荷インピーダンス:	10k Ω	
レベル:	− 10dBV	
• ヘッドホン出力	ステレオ	
負荷インピーダンス:	40 Ω	
レベル:	400 m W	
• デジタル同軸出力	ステレオ IEC958 Consumer (Fs: 44.1k/48K/96kHz)	RCA 端子
	4 ステレオ (8 モノラル) 24bit, 44.1k/48K/96kHz	USB B
• USB オーディオ出力		
□ 総合		
USB MIDI I/O:	IN: 1ch, OUT: 1ch MIDI1.0, MIDI Clock	USB B
MIDI OUT:	OUT: 1ch MIDI1.0, MIDI Clock	5pin DIN
CH メーター:	PPM 16 ポイント LED −40 ~ +10dB, Peak	
MASTER メーター:	PPM 24 ポイント LED −50 ~ +16dB, Peak	
CH フェーダー:	60mm Conductive Plastic Type fader	
Cross フェーダー:	45mm FLEX Fader (Fader Torque Adjustable)	
外形寸法:	320 (幅) × 357 (奥行) × 90 (高さ) mm	
質量:	7.6kg	
電源電圧:	AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力:	36W	
動作温度:	+ 5℃ ~ + 35℃	
動作湿度:	25% ~ 85%	
保存温度:	− 20℃ ~ + 60℃	



単位: mm

系統図



故障かな?と思ったら

□各接続は正しいですか

□取扱説明書に従って正しく操作していますか

□アンプやスピーカーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

症 状	原 因	処 置	関連ページ
電源が入らない。	●AC コードが電源コンセントにつながらっていない。	●電源コンセントにつないでください。	8
音が出ない。または小さい。	●接続コードが正しく接続されていない。 ●インプットセレクトスイッチの位置が不適切である。 ●マイクのダッキング機能が働いている。	●接続を確認してください。 ●インプットセレクトスイッチを再生中の機器側に切り替えてください。 ●DUCKING スイッチを“OFF”に設定してください。	8 4 4
音が歪む。	●マスター出力レベルが高すぎる。 ●入力レベルが高すぎる。	●マスター出力調整つまみを調整してください。 ●入力レベル調整つまみを調整してください。	4 4
CD プレーヤーのフェーダースタートができない。	●接続コードが正しく接続されていない。 ●フェーダースタートスイッチが“ON”になっていない。	●ステレオミニ端子を使用して、本機とCD プレーヤーを接続してください。 ●フェーダースタートスイッチを“ON”に設定してください。	8 4

□DN-X1700 が正常に動作しない、または音が鳴らない

- USB ケーブル、オーディオケーブルなどは正しく接続されていますか?
- 音源、オーディオ機器、アプリケーション、OS などの音量設定は上がっていますか?
- ご使用のオーディオアプリケーションで適切なデバイスを選択していますか?
- サンプリング周波数の設定は適切ですか?
➔ 本体のプリセットモードでの設定とアプリケーションの設定を合わせてください。
- サンプリング周波数やビット数の異なるウェーブファイルが混在していませんか?
➔ お使いのオーディオアプリケーションによって、サンプリング周波数やビット数の異なるウェーブファイルを同時に再生できない場合があります。
- 他の USB 機器を使用していませんか?
➔ 他の USB 機器も接続している場合は、DN-X1700 だけを接続して問題がないか確認してください。
- 接続しているコンピュータの USB コネクタは USB2.0 (Hi-Speed) に対応していますか?
➔ USB2.0 対応のケーブルを使用してください。

□音が途切れる、または歪む

- 他のアプリケーションやデバイスドライバは動作していませんか?
➔ 不要なアプリケーションは終了してください。
- 複数のウェーブファイルを再生していませんか?
➔ 複数のウェーブファイルを同時に再生すると、お使いのコンピュータの能力によっては、再生音が途切れたりすることがあります。

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

□ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

□ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。有料修理の料金については「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

□ 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 修理を依頼される前に、今一度この取扱説明書の内容をご確認ください。

□ 修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名…… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号… 保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2

茅場町タワー

国内営業本部

TEL: **03-6731-5588**

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9:30 ~ 12:00、12:45 ~ 17:30

(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

<http://dm-pro.jp>

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話 (- -)
ご購入年月日:	年 月 日